

三、次の文を続けて、もとの正しい文章になるように、()の中に番号を入れなさい。

- () さつそくあめを取り出して配りました。
- () たかひろが、ポケットに手を入れると、あめの箱がありました。
- () ちょうど、ひとつずつみんなにいきわたりました。
- () さいわいに、箱はつぶれていませんでした。

四、次の一 つの中の続きのよいものを、それぞれ一つ選んで、記号を○でかこみなさい。

安く売る	—	ア から イ と ウ のに	たくさん	—	ア 売れるから イ 売れるけれども ウ 売れても	一つ一つのうけは少なくとも、全体としては、 もうけは多いことになる。
------	---	---------------------	------	---	--------------------------------	---------------------------------------

五、次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

① 空気のきれいな土地に住んでいる人々は、きれい

— この文章を三つの段落に分けるとすれば、どこで

な空気のありがたさを感じないものです。② 同じように、日本国民の多くの人々は、ことばのうえの幸福について、はなはだ無関心なようです。③ そして、この無関心ゆえに、日本の国民の間に国語をたいせつに守り育てようという精神がとぼしいということは、否定することのできない事実なのです。④ では、国語をたいせつに守り育てるといふことは、具体的にどうすることなのでしょう。⑤ まず、国語をしっかりと学ばなければなりません。⑥ 正しい国語を、身についたものにならなければなりません。⑦ 正しい国語が身についたものになれば、話をする場合のことばづかいでも、文字の使い方や文章の書き方でも、誤ったもの、いやしいものを受けつけないようになります。⑧ 国民みんなが、こうした努力をすれば、日本語は、よりすぐれたことばに、より美しいことばになるでしょう。

きつたらよいですか。□の中に文の番号を入れなさい。

- ア 一段目 — □ の文の終わりで。
- イ 二段目 — □ の文の終わりで。

2 ⑤の文と、同じ内容をのべているのは、なん番の文ですか。□の中に文の番号を書きなさい。

⑤と同じ内容の文 — □

3 この文章は、何についてのべていますか。次の中から一つ選んで、記号を○でかこみなさい。

- ア 日本人の多くは、国語に無関心である。
- イ 日本人は、国語をたいせつにする心がとぼしい。
- ウ 国語をしっかりと学ばなければならない。
- エ 国語は、よりすぐれた美しいことばになる。